

平成30年度国立教育政策研究所教育課程研究指定校 事業研究協議【中学校・高等学校 校種間連携】報告

平成31年2月8日（金）、ビジョンセンター浜松町（東京）を会場に教育課程研究指定校事業研究協議会が行われ、長万部高校と長万部中学校の校種間連携について実践発表をしてきました。事例発表後、研究協議が行われ、質問や感想をたくさんいただきました。参加者の方からは「応援したくなる取組だった」「情熱が伝わってきた」「ぜひ取組を見に行きたい」等々、お褒めの言葉もありました。研究協議と担当調査官である長田徹様（文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官）からのご講評を通して、2年間の取組を振り返ることができました。これからも成果と課題を見出し、継続できるようにしていきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

研究協議会の様子

実践発表（20分間）



長万部中学校・高校の取組含め、2つの実践発表が行われました。発表のスライドについては、長万部高高校研究指定校のページにてご覧ください。各学校の取組に対して質疑応答が行われ、「小中高合同の研修サークルでは具体的にどのようなものを行っているのか」「その研修はどれくらいのスパンで行っているのか」等を質問していただきました。

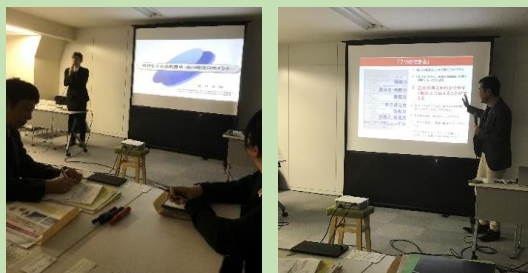
研究協議（40分間）



参加者がグループになり、各校の取組について「良かった点・参考になった点」「課題点」「提案」等をまとめました。その間、発表者は各グループを回り、議論し、より考えを深める時間となりました。全国の先生方、教育委員会の方々と交流し、共通の課題等を共有することができました。

講評（30分間）

藤枝調査官、長田調査官よりそれぞれの観点でご講評をいただきました。どれも大変参考になるものでした。ありがとうございました。



研究協議でのまとめ資料

参加者の皆様からいただいたお言葉です。参考にさせていただきます。ありがとうございました。

長万部 中・高

- 高校卒業後 進路 実態は？
(地元 へ 帰る 人は いる の か？)
- 町おこしが 死 生活 問題 である
かゆえに、生徒にとってこのテーマが
「自分ごと」として やすい と 感じ た。

〈長万部 中・高〉

- 田研サークルと小・中・高で行っていることが 効果的 だと 思う。
- 小・中高 合同 発表会 は、ぜひ 参考 に したい。
↳ 全ての 校種 に 対 して 良 い 率 に 対 する
- テーマ『まちづくり』が 一貫 している こと で、探 究 し や す い。
↳ キャリア 教育 の 視 点 → 自 分 事 に なる。
↳ もっと 広い 視 野 に な り て い く と 面白 い。(社会 と の つ な が り)

長万部 中・高

[良かった点、参考になった点]

- ・ 連携 により 承 継 だけ で なく、生徒 たち も 互 い の 学校 の 良 さ を 知 る こと が でき ている。
- ・ 将来 を 見 据 え た まち 全 体 の 発 展 の た め の ア ク シ ョ ン が 素晴らしい!!
- ・ 中 → 高 → 社会 人 と な る 中 で、長万部 の よ さ を 再 認識 する きっかけ と な っ て い る。

[疑問・質問]

- ・ 長万部 高校 を 卒業 し た 生徒 が 町 に 戻 っ て く る と い い な あ ... ! 将来
- ・ 長万部 高校 の 生徒 が どの くらい 戻 っ て き た い !! と 感 じ て い る の か。(現 段階 で)

〈長万部 中学 高校〉

良いところ

- ・ 小・中・高 で『まちづくり』の キー / か、一 致 し っ て
- ・ 目的 が 先 行 し て 取 り 組 ん で い る こと

提案

- ・ セル イメージ 自己 地 域 有 限 性 の 予 計 実 施

質問・予 計・有 限 性・地 域 有 限 性 変 化
エ ン ジ ニ ア ス ト ル と の 関 連
高 校 生 の ポ ー ト フ ォ ル と 関 連 意 図 は ?
取 り 組 み の 利 用 性 ポ イ ン ト

長万部 高校・中学校

よい点

- ・ まちづくりをテーマに、まちづくりにつなげられている。
- ・ 小・中・高が、いっしょに発表会をする事で、様子がわかる、つながりができる。
- ・ 情熱を感じる。
- ・ まち、地域からの評価がある

課題

推進している人が変わったとき 継続していくこと。

長万部中学校・高校

- 町を巻きこんでの取組、生徒の必要感を引き出している。

↓
アンケートをより具体的にさせた方が
(「将来、この町に貢献したい」等)
見取りがしやすいのではないかと

「中つ高の通学は多い？」

- 「まちづくり」を目的に置いた着眼点がすごい。

- 「地域住民の講話」「地域住民を招いての発表会」まちが一丸となっている

→ ねらいは「町の活性化」
→ 本当にそれは活性化につながっているのかを考える。

長万部高等学校・中学校

- 小中連携・中高連携はよくあるが、ここまで広い連携ができるのはすごい。

⇒ まちづくりという目的がしっかりあることで、子どもたちも意欲的に取り組める。

⇒ まちの声をダイレクトに伝えることで、^{まちの人の声}子どもたちも本気になれる。発案⇒改善⇒実施
この流れは双方良い効果がある。

- 小中高の連携で子どもの成長と未来の夢の想像ができる。⇒ 自分の関わる生徒のその後に追える。

- 10年後、その先の「まち」をイメージし戦略をつくり

⇒ このプログラムを経る子どもが大人になり、どう関わっていくのかに楽しみ。

- 探究の評価

自分の中での変化

他者からの評価